

§ 医療介護福祉科が山陽新聞5月18日朝刊に紹介されました §

## 川崎医療短期大学 医療介護福祉科

# 医療現場で活躍する 介護福祉士

卒業生レポート

川崎医療短期大学から川崎医療福祉大の3年次編入を経て療養型病院の医療ソーシャルワーカーの職に就きました。短大で介護という直接的な支援、大学の制度やサービスを通じて間接的な支援の両方を学ぶ経験し、最終的に対象者と地域をつなぐ仕事を学びました。医療福祉では、患者さんご家族から医療費や退院後の生活などさまざまな相談をお受けします。経済的問題には介護保険や障害者支援制度などの利用をお手伝いし、心理的にも安心感を抱いてもらえようを努めています。



患者さんの心身状態がよくない、病院よりも自宅や福祉施設の方が自分らしく過ごせそうです、スムーズに次の生活に移れるよう調整を図ります。ご本人にとってベストな選択は何か。医療職、福祉職、リハビリ職の意見をまとめて、ご本人ご家族に伝えます。これは、でもありません。ご本人ご家族の希望をすり合わせ、双方が納得して笑顔で退院される時が一番うれしです。大事な時は、患者さんの意思決定をサポートするために共に考え、「聴く」姿勢を忘れないことです。

### 「医療介護福祉士」採用へ

川崎医科大学附属川崎病院 (岡山市北区中山下)

川崎医科大学附属川崎病院では、さまざまな職種がチームを構成し、それぞれが、医療現場で求められる課題に取り組み、専門性を高めています。川崎医療短期大学医療介護福祉科の卒業生は、このような職種を超えた「チーム医療」のスタッフの一員として大事な役割があります。こちらある多くの皆さまのご応募をお待ちしております。



【川崎医科大学附属川崎病院の新病院イメージ】平成28年のオープンを目指して新築移転工事中



豊富な経験談を交えて熱心に指導して下さり、今の現場で大変役立っています。一人一人に合った介護をするためには、容態はもちろん、何の病気で、どんな治療を受けているかを把握しておくことが重要。医師や看護師のそばで、薬の効果や副作用、食べ合わせの注意点など、さまざまな医療知識を深めています。また退院指導にも関わり、患者さんご家族に介護技術をお伝えしています。病院では、患者さんが安心して治療や介護を受け、快癒して帰るまで、医師や看護師、管理栄養士、理学療法士といった多職種のスタッフがチームを組んでいます。大きな食べ物は飲み込みがそうだった「一色」が似た薬があり、間違えそうだった「心配」など、私も気付いた点を伝えるケアの改善を図っており、チームの「目」としてやりがいを感じています。これからも患者さんの心に寄り添った介護に努めています。



生活の質を左右する上で責任があります。一人一人の要望にしっかりと耳を傾け、それに応えられる介護福祉士になりたい。そのために患者さんの視点に立って知識と技術を高めていこうと思います。

### 短大での実習が力に

医療介護福祉科は2年間に4回、多種多様な介護福祉士の現場で実習を行います。2年次になると週10週間、高齢者や障がい者のお宅に通い生活支援を行うなど、他の養成校にはない実習プログラムがあります。この経験を生かし、退院後スムーズに在宅生活が営めるように患者さんご家族の思いを聞き、安全で安心できる環境づくりを提案しています。

## チーム医療にやりがい

介護福祉士  
大野 麻美さん  
(倉敷記念病院勤務  
2009年度卒)

介護福祉士として就職して5年目。入院患者さんの身体介護をはじめ、ケアプラン作成、レクリエーションの企画運営などを行っています。川崎医療福祉大は先生方が高齢者特有の疾患について症状や生活面への影響をそれぞれに適切な介護を

川崎医療短期大学(倉敷市松島)の医療介護福祉科では、チーム医療の一員として連携のとれる「介護福祉士」を養成しています。日本は少子・高齢化が進み、今や65歳以上の4人に1人が認知症あるいはその予備軍です。認知症ケアには、高度な専門的知識と技術が必要で、医療現場でも医療に強い介護福祉士のニーズが高まっています。同科の強みは、川崎医科大学を中心に据えた医療専門職養成の中で

15年間続く介護福祉士教育、豊富なスタッフと教育環境設備を有していること。また例年、卒業生の約15%が川崎医療福祉大へ編入。川崎学園内での編入だからスムーズかつ確実に社会福祉士との2つの国家資格取得が可能です。さまざまなフィールドで活躍する介護福祉士のうち、医療現場で働く卒業生3人に、川崎医療短期大学の魅力や仕事のやりがいをお聞きしました。(企画・制作/山陽新聞社広告本部)

## 一人一人に応じたケアを

介護福祉士  
小原 らなさん  
(倉敷平成病院勤務  
2013年度卒)

私は高校生の時、足の悪い祖父を介護する祖母の苦勞をみて、もっと楽な介護方法はないかと調べた。短大で専門的知識を学び、今春、病院に就職。急性期病棟で主に食事や入浴を担当しています。短大で学び、安全、安心な介護技術を一一人の患者さんに合わせて早速実践。久しぶりに入浴した患者さんに「気持ちよかったです。ありがとうございます」と笑顔で言われたのが、やりがいがあり、改めて介護福祉士の道を選んで良かったと実感しています。短大では医学や医療面の授業も充実していたので、さまざまな状況にも立ち回って対応できています。

### 川崎医科大学附属病院 臨床教育研修センター

臨床教育研修センターは、病棟と同じ設備を備えた日本最大規模の模擬病棟があり、高機能シミュレーターや最新の医療機器を備え、演習ができます。川崎医療短期大学医療介護福祉科の学生も、たのびのびと、経営栄養といった「医療的ケア」=写真=や救急法の実習を行い、必要な知識・技術を習得しています。



♪中庄駅から無料送迎バスをご利用ください。周辺MAP

事前申込不要  
保護者歓迎

- AO入試の事前相談
- 介護食を作ってみよう! (5/25)
- 本学の面接・小論文解説
- 手話歌を覚えよう! (6/22)
- 模擬講義・体験実習
- 在学生と話そう!